

# 2023 Art Festival

美の祭典

## 越中アートフェスタ2023

入賞作品

令和5年 11月18日[土]—22日[水] 9:00—18:00

11月18日[土]は10:10から、11月22日[水]は17:00まで

富山県民会館

[平面] 日本画／洋画／版画／水墨画／工芸／書／写真／デザイン等

[立体] 彫刻／工芸／立体造形／デザイン等

主催／富山県、一般社団法人富山県芸術文化協会、富山県美術連合会  
共催／公益財団法人富山県文化振興財団、北日本新聞社  
後援／富山県教育委員会、富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞、  
NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、一般  
社団法人富山県ケーブルテレビ協議会、とやまソフトセンター、富山大学、  
富山県女性団体連絡協議会、一般社団法人富山県労働者福祉事業協会

お問い合わせ／

美の祭典 越中アートフェスタ実行委員会事務局

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 富山県文化振興課内

TEL.(076)444-3455



出品  
入選  
入賞状況一覧

数	部門	平 面	立 体	計
出 品 数		419	66	485
入 選 数		417	66	483
入 賞 数		50	19	69
入 選 率		99.5%	100.0%	99.6%

※入賞数は越中アート人気賞を除く数。

役員  
実行委員  
審査員

名誉顧問 新田 八朗  
顧 問 岡本 達也 蒲地 誠

実行委員

委員長 阿波加蒼岳  
副委員長 丸山 幸一 舟本 幸人  
委 員 伊東 順二 村上 隆  
大谷 弓子 長柄 毅一  
石田 敬真 温井 喜央  
高畑 信雄 大澤 三月  
野村 光雄 田畑 功  
十二町 薫 池上 猛  
有川 立虹 大石 仙岳  
青柳 雛 平井 勝美  
一ノ谷敏治 直 泰弘  
関口 和美 川淵 満  
中村 夏樹 木原 和夫  
野村 圭子 橋本 歩  
中島 英樹 岩田 繁子  
藤井 光行 倉田 千春  
杉田 聡

審査員

総 合 長澤 忠徳  
平 面 青柳 雛  
以倉 新  
片岸 昭二  
桐井 昇子  
近藤 顕子  
西藤 哲夫  
高岡由美子  
柳田 邦男  
山田 蒼山  
立 体 麻生 恵子  
尺戸智佳子  
瀬尾 千秋  
高橋 勇  
野田 雄一

(五十音順)

監 事 石田 敬真 倉田 千春

## 総 評

### 平 面

応募総数は減りましたが、堅実な作品が多く見られました。小学生の作品がたくさん出品され、幅広い年齢層の作品展となりました。会場の雰囲気がとても楽しく、越中アートフェスタらしいユニークさを楽しんでいただけたと思います。

### 立 体

本年も個性が光る作品がたくさん集まりました。卓越した技術に支えられたもの、素材、技法に工夫が凝らされたもの、発想が面白いもの、皆さんののびのびとした創作意欲が感じられました。また、新しい表現に挑戦する若い方の作品についても、未来に向かってますます飛躍されることを期待します。



越中アート大賞 北日本新聞社長賞  
「内川情景」永森 一則  
144×214

総合審査員 長澤 忠徳

作品表現し、応募するのは、作者の強い意志ゆえのことである。意志の「意」という文字は、「心」と「音」という文字で成り立っている。あらゆる人々が、自分にしか聞こえない「心の音」を聞き、それをそれぞれ得意な方法で表に現す「表現」の開かれた機会が富山県にあることを、とても嬉しく思う。大賞に選んだ「内川情景」は、芸術作品の域に到達した、動きと静止した状況を瞬時に写し取った見事な写真作品である。



優秀賞 富山県芸術文化協会賞  
「sustainable generation」土屋 裕  
185×120×60

日常にあふれる廃物を使った動きのある彫刻作品。生産と廃棄を繰り返しながら、時を刻む現代へのメッセージだろうか。造形的、色彩的にも自身の試みがなされ、批判だけでなく、希望も感じさせる。



優秀賞 北日本新聞社賞  
「sparkle」ヤマモト マサヒロ  
117×91

今風のキャラクターが、ギョロリとした目でニヤリとこちらを見つめている。カラフルな色彩も、輪郭線の強い黒も、どこか不穏な気配をかき立てる。そこに争いの絶えない今の世界の不穏を見るのは、穿ち過ぎだろうか。



優秀賞 富山県文化振興財団賞  
「初心」 荒谷 明美  
155×168

鋭い感性。美しく活かされた余白、ダイナミックな筆捌き、墨色の多彩さ、此所しか考えられない落款の位置。制作に求められる要素が紙面に圧縮され見事な作品に仕上がっている。



優秀賞  
「FINAHO」 圓戸 智  
170×115

前回展は版画作品で受賞したが、今回はドローイングでうねるフォルムに繊細さが共存する作品。作者には墨色の豊かな感性が養われており、奥深さが素直に表現されている。見るほどに様々なイメージがかき立てられる。



越中アート未来賞  
「生きもの」渡邊 楽  
112×212×63

実は底部に車輪があり、肉の側面から自ら内部に入りこんで走らせたという。その映像を流せないのは残念だが、動きを含めた表現という新しい試みに驚かされ、肉というマチエールも大振りながらよく表現されている。



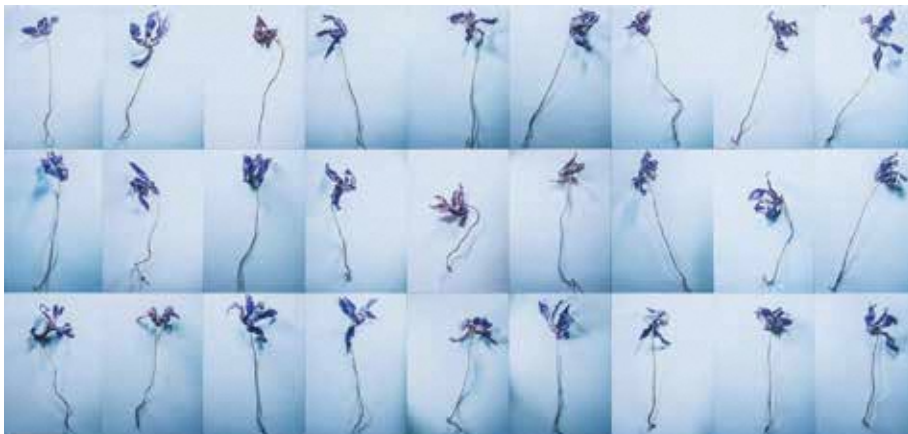
奨励賞 越中アート人気賞  
「You and Me」与島 雪  
91×120×45



奨励賞  
「旅人は化身の夢を見る」伊勢 威知郎  
130×388



奨励賞  
「ときめく瞬間」大久保 肇  
79×109



奨励賞  
「NEXT—折り—」笠嶋 富士幸  
126×180





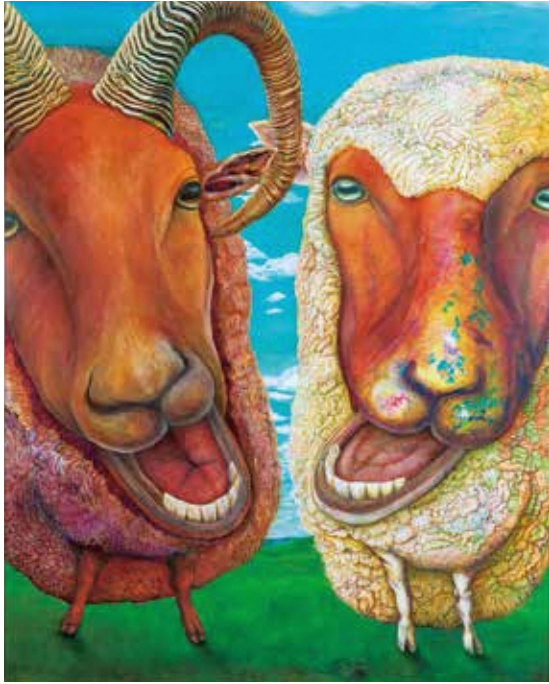
奨励賞  
「莊子のことば」小杉 峰廣  
250×210



奨励賞  
「むぎちゃん」こみや かぶり  
162×130



奨励賞  
「相向」財目 尚弥  
91×117



奨励賞  
「僕のともだち」 清水 晶代  
161×130



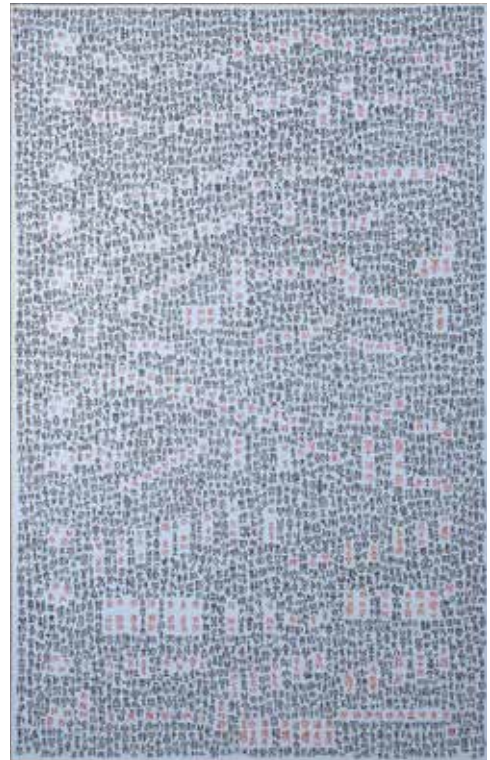
奨励賞  
「帯雲」 高野 晶葉  
180×132



奨励賞  
「刻の記憶」 武田 清子  
145×200



奨励賞  
「そっくりなわたしたち」竹田 ひより  
162×130



奨励賞  
「ピアノソナタ作品57 熱情」辻 利宏  
200×130



奨励賞  
「ヒマワリ」富川 幸子  
130×162



奨励賞  
「未来へ」 氷見 安正  
102×145



奨励賞  
「称名瀧」 水島 大樹  
180×80



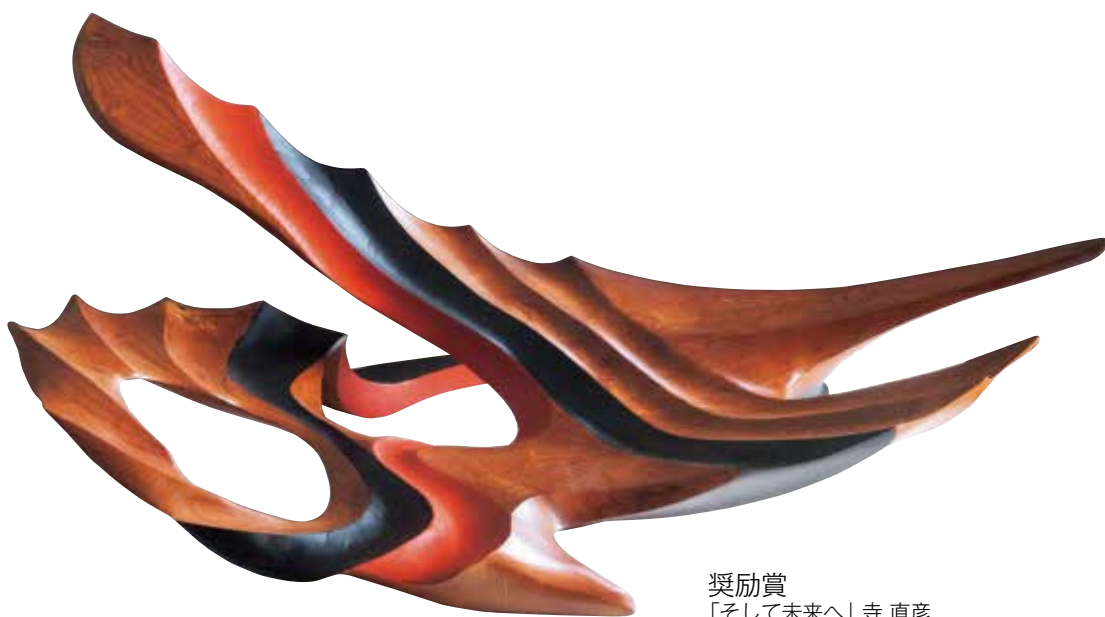
奨励賞  
「獅子舞」 山田 俊一  
146×112



奨励賞  
「円環 朽ちるもの芽吹くもの」高橋 亜紀子  
17×12×12



奨励賞  
「collection of trees」辻 裕美  
60×70×10



奨励賞  
「そして未来へ」寺直彦  
25×70×45



奨励賞  
「天球の星ぼし」牧野 収  
15×35×35



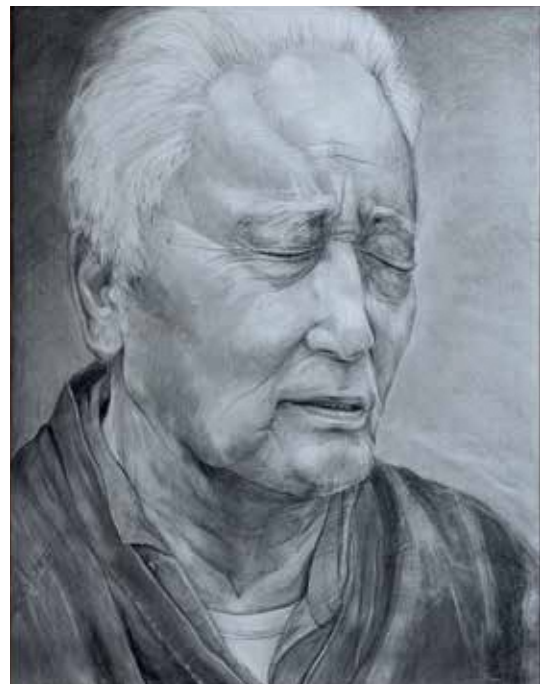
佳作  
「はけない靴」 荒井 洋子  
164×132



佳作  
「心のフロッキー旅は道連れー」 池田 佐知子  
167×135



佳作  
「初冬」 伊藤 徳和  
77×106



佳作  
「口からおわらがあふれる人」 大久保 りか  
117×91



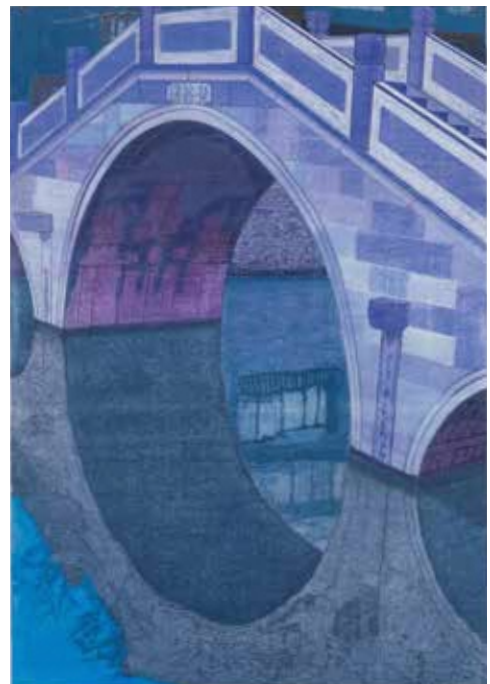
佳作  
「小さな手」京塚 喜雄  
80×107



佳作  
「Dr.s.Tamai」才田 峰風  
117×91



佳作  
「去華就実」清水 黄玉  
178×57



佳作  
「陽光射す水郷」作農 啓一  
162×112





佳作  
「紅葉」 正和 淳子  
117×80



佳作  
「立山連峰と高山植物の仲間達」 末永 征士  
110×144



佳作  
「バイタリティー」 杉田 一彦  
105×78



佳作  
「母と子～美・アフリカ4.5～」 大吉田誠夫乃助  
270×270



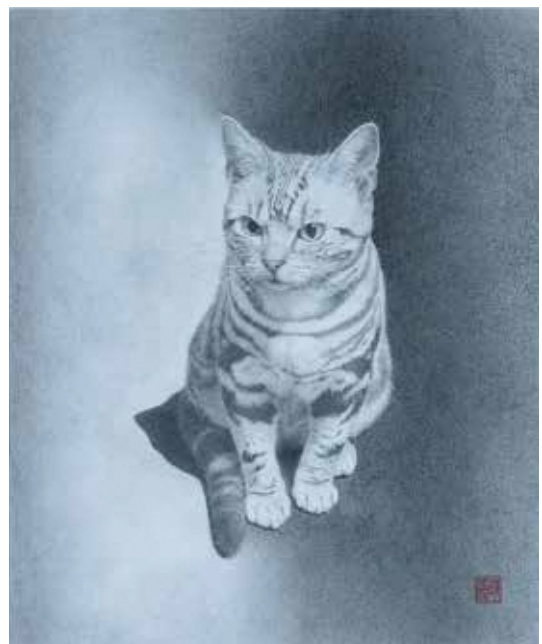
佳作  
「朔太郎の詩「灰色の道」より」田邊 竹綾  
240×180



佳作  
「命」谷口 文夫  
74×97



佳作  
「蓮華畑の夕暮れに平和を祈る」寺松 裕史  
97×146



佳作  
「凜」土肥 雅晴  
59×52



佳作  
「海中泡」堂口 光周  
125×95



佳作  
「華に舞う」中島 弘美  
80×48



佳作  
「龍」中屋 寿雨  
150×119



佳作  
「Yさんと猫」中谷 稔  
124×92



佳作  
「温故知新 歴史から学ぶ」 林原 武夫  
77×270



佳作  
「航海のひと休み」 平野 清英  
77×106



佳作  
「碧への誘い (No1)」 野中 桂子  
150×116



佳作  
「柿の妙技」 本郷 喜代則  
70×90



佳作  
「威」松本 桃風  
136×136



佳作  
「遥かなるもの」丸山 敦子  
162×194



佳作  
「春を待つ」山口 花子  
97×123



佳作  
「怒ったドラゴン」山田 温志  
84×120



佳作  
「花と鳥」山本 晃士  
180×180



佳作  
「揺蕩う」米田 英隆  
194×130



佳作  
「秋色」綿屋 慎以  
162×112



佳作  
「想い」磯野 一美  
36×18×14



佳作  
「(ブレームンの) 音楽隊」ガアリノ アキ  
270×180×90



佳作  
「KOMEMEーJ君へ捧ぐー」酒井 七海  
88×120×120



佳作  
「ネジ組み&トンボ」 澤田 信治  
103×90×52



佳作  
「夏の終わり」 田中 絹子  
48×32×45



佳作  
「柔らかい境涯」 中尾 雅一  
30×32×30





佳作  
「永生（永遠に滅せず）」南部 進  
250×85×6



佳作  
「366」野坂 里子  
6×70×70



佳作  
「共生」明 順昭  
23×68×68



佳作  
「浮遊」渡邊 伊規子  
240×185×120



佳作  
「双魚 二曲屏風」森下 登志美  
180×32×32



佳作  
「紙昆虫」安吉 将吾  
29×65×28

## 協賛・運営協力

### 協賛企業・団体

北日本新聞社 一般社団法人富山県芸術文化協会 公益財団法人富山県文化振興財団  
東京北辰書道会 一般社団法人富山県労働者福祉事業協会 アート・ケイ  
株式会社石村・画材たんぽぽ 北日本印刷株式会社 株式会社キレイ堂 株式会社サイゴ堂  
サンユウセキュリティ株式会社 株式会社チューエツ 富山スガキ株式会社  
富山電気ビルディング株式会社 日本海電業株式会社 株式会社フジカラー北陸  
プライムビジネススタッフ株式会社 株式会社宝来社 株式会社よしともコミュニケーションズ

### 協賛者

阿波加蒼岳 直 泰弘 舟本 幸人 丸山 幸一

### 事務局・運営協力者

#### 富山県芸術文化協会事務局幹事

竿下 純子 島崎 俊哉 石川知恵子 喜多埜草萌 谷井 進 島田見根夫 土田 信久

#### アートフェスタ委員

酒井 邦子 蛭川 勇 鴨井 伸市 新田 晴夫 榊田 律子 栗原万里子 大丸 敏 野沢みさえ  
中林 雅代 加茂 薫 本郷 仁 天笠 夏美 澤田 湖州 藤城 翠蘭 石仙 伸夫 石田 正博

#### 子どものための絵画ワークショップ指導（大谷美術学園）

大谷 弓子 佐竹 宏文 堀 亜季 鈴木美奈子 滝 みゆき

#### 越中アートフェスタ2023運営ボランティア

茂住 恵子 小林 和美 高野 保子 中山 節子 南 美恵子 境 晶子 泉 洋 松原 典子 大坪 昭一  
木下 幸子 場家 信子 窪田 陽子 室田 和美 荒滝 悦子 岡村千佳子 大森 茂

#### 越中アートフェスタ2023運営協力

大嶺 優佳 奥村 綾子 加藤 優子 菊地 裕美 佐々木英子 島次 明美 高田 栄子 武崎真由美 林 晴子

#### 実行委員会事務局

奥田 誠司 石坂加代子 北村 充 松村奈美子 柿本 良衛 夷 美香 中野 紗希 宮井 大輔 福島 瑛里  
沢越 美空 轡田 大樹 田嶋 愛子 篠田真紀子 堀内 志穂 山口 浩由

## 美の祭典 越中アートフェスタ2023

---

編集・発行／美の祭典 越中アートフェスタ実行委員会事務局  
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 富山県文化振興課内

デザイン 有限会社スクラムアートワークス  
印刷 株式会社チューエツ